

平成 27 年 6 月 14 日（日）午前 9 時

わんさか大浦パーク前

核兵器廃絶国民平和行進

市長メッセージ

この度は、核兵器廃絶国民平和行進の開催に当たり、貴実行委員会をはじめ、ご参集されました多くの平和を愛する皆様に、ご挨拶を申し上げます。

名護市は、昭和 57 年 4 月に「名護市非核宣言」にて、人類初の被ばく国民として、また悲惨な戦争を体験した沖縄の住民として、すべての戦争を否定し、人類の存在を脅かす核の廃絶を世界の全各保有国に求め、また、核廃絶のため全力を尽くすことを誓いました。

平成 24 年度には、広島市が会長をつとめる平和市長会議へ加盟いたしました。平和市長会議は、2020 年までに核兵器廃絶を目指す行動指針「2020 年ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）」を策定し、世界の都市首長や市民と連携しながら、核兵器廃絶に向けた多様な活動を行っております。本市も北東アジア非核兵器地帯を求める国際署名へ賛同するなど連携を図っています。

名護市に住む私達は、普天間飛行場移設問題に関して「辺野古の海にも陸にも新たな基地は造らせない」との信念を貫く決意であり、自然豊かな大浦湾の海が見えるわんさか大浦パークから平和行進が出発することについて大変感慨深く感じております。

結びに、参加者の皆様におかれましては、体調には十分注意され、核兵器の廃絶を訴えて平和行進の目的を無事達成することを祈念するとともに、皆様方のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、私のメッセージとさせていただきます。

平成 27 年 6 月 14 日

名護市長 稲嶺 進